

敬語

敬語：原是對第三者或對方表示尊敬的用語,各國有其各自的措辭與表達方法。日語自古即注重敬語,措辭豐富而繁多。

敬語的說法：

- (1) 有時用特別名詞,或用特別動詞。
- (2) 在普通的單語之上,加上特別的接辭。或於其下粘附助動詞和補助動詞,以表示之。

敬語的用法：從使上用分爲三種,尊敬語,謙讓語,丁寧語。

一、尊敬語

※尊敬表現相關注意事項

1. 複合動詞的情況通常是將後面的動詞改爲尊敬體。二、三個動詞相連的情況只需改變句尾動詞即能表現敬意。

- ①先生は先ほど帰っていらっしゃいました。(老師剛剛回來)
- ②先生は毎朝六時に起きて、散歩なさいます。(老師每天早上六點起床散步)

2. 針對一個動詞使用二重敬語變化不是好的形式。應盡量避免此二重變化才好。不過,「あがる」「召す」「見える」之類敬意度地的動詞可和「お~になる」一起使用。

- ①これは社長がタイでお求めになられた物です。(這是社長在泰國買的東西)(不自然的句子)
- ②これは社長がタイでお求めになった物です。(這是社長在泰國買的東西)(自然的句子)
- ③お医者様がお見えになりました。(醫生來了)(自然的句子)

3. 使用「ごらんなさい」「いらっしゃい」之類敬與動詞對「目下」表示命令,雖有親近感但沒有表尊敬的意思。

- ①おいしいから、食べてごらんなさい。(很好吃,吃吃看)
- ②そんなにいやなら、おやめなさい。(那麼討厭的話,就不要做了)

4. 主體是東西和寵物的時候,不使用尊敬語。

- ①社長の家には犬が三匹います。(社長家裡有三隻狗)

5. 女性有將「いらっしゃる?」「なさる?」之類敬語動詞作爲普通體使用的情況,這是美化語的使用,因此沒有尊敬的意思。

- ①来週の音楽会はどうなさる?いらっしゃる?(下星期的音樂會怎麼樣呢?要去嗎?)

※敬語動詞

◎動一+れる、られる

*因變化有規則性目前被廣泛的使用。特別是使用在男性用語和報紙、論文、公文之類的書寫體。可是具有易與受身形和可能形混淆的缺點。因此,易遭誤解的動詞變化應避免才好。

還有,不能用於如「わかる」「できる」之類本身已含有可能意味的動詞和可能動詞。

*用於表達對對方、第三者的尊敬。主語是被尊重的人。

*形式與被動型一樣。「動一(ら)れます」沒有「お動二になります」所表示的敬意程度高。

- ①会長は10月8日に日本から帰られます。(會長10月8日從日本回來)
- ②先生、どこで電車を降りられますか。(老師,您要在哪裡下(電)車呢?)
- ③先生はあした出発されるそうだ。(聽說老師明天要出發)
- ④今日は珍しい方がこられる。(今天會有稀客來到)

◎お(ご)+動二+になる

- * 中間使用動詞連用形或表示帶行為動作意義的漢語詞彙。
- * 用於表達對對方、第三者的尊敬。
- * 主語是被尊重的人。本身意義為貶抑的動詞(如:ぬすむ、なぐる等)、較為隨便的詞語(如:がんばる、しゃべる等)不使用這種形式。
- * 當「お~になってください」時，表示禮貌的勸誘。

- ① お使いになってのご感想をお寄せください。(請寄回使用後的感想)
- ② 院長はあしたの朝ご出発になります。(院長明天要出發)
- ③ 会長は10月8日に日本からお帰りになります。(會長10月8日從日本回來)
- ④ どうぞ、おかけになってください。(請坐)
- ⑤ 「社長、奥様にお電話をおかけになりましたか」「ああ、さっきかけたよ」
(經理，您打電話給尊夫人了嗎？)(剛剛打過了)

◎お(ご)+動二+なさる

- * 中間使用動詞連用形或表示帶行為動作意義的漢語詞彙。
- * 與「お(ご)+動二+になる」相似，是一種尊敬他人的表達方式。
- * 使用動詞連用形說「お話しなさる」、「お食べなさる」時，給人感覺用法比較陳舊。此時，使用「お+動二+になる」的形式較多。
- * 使用「なさい」形式，可表示較禮貌的命令口吻。此時不可對地位身分高於自己的人使用。

- ① どうぞ、お食べなさい。(請吃)
- ② あなたが行けば、おばあさんはきっとお喜びなさるでしょう。
(你去的話，奶奶一定會很開心的吧)
- ③ アメリカへはいつご出発なさるんですか。(您何時要前往美國呢？)
- ④ 社長が明日十時にこちらをご訪問なさるそうです。(會長明天十點聽說會來這裡訪問)

◎お(ご)~くださる/ください

- * 中間使用動詞連用形或表示帶行為動作意義的漢語詞彙。
- * 與「~てくださる」相同，是一種尊敬他人的表達方式，但比他更顯敬重。
- * 可表示較有禮貌地對人進行勸誘的意思。

- ① わざわざ宅急便でお送りくださらなくてもよろしかったのに。
(其實不用特地用宅配送寄過來也可以的)
- ② お父様がお帰りになったら、よろしくお伝えください。(令尊回來之後，請替我問候他)
- ③ 大した料理ではございませんが、どうぞお召し上がりください。
(不是什麼特別的料理，請吃/享用)
- ④ どうぞお入りください。(請進)
- ⑤ おじさんが時計を買ってくださる。(叔叔買錶給我)

◎お(ご)~です

- * 中間使用動詞連用形或表示帶行為動作意義的漢語詞彙。
 - * 與「お(ご)+動二+になる」的形式相似，是一種尊敬他人的表達方式，但可使用的辭彙有限，形成較固定的慣用形式。
 - * 名詞+お(ご)
1. お+固有和語 例:お国、お寿司、お名前
例外:お電話、お返事、お時間、お宅、お仕事、お部屋、お食事、お留守、お手紙
 2. ご+漢語 例:ご家族、ご旅行、ご一緒、ご兄弟、ご住所

3. 形容詞 / 形容動詞+お（ご）

例:お忙しい、お若い、お上手、お元気、お暇、お寂しい、お早い、ご熱心、ご親切、ご多忙、ご心配、ご不満、ご満足

4. 副詞+お（ご） 例:ご自由に

- ①お客様がこちらでお待ちです。(客人請在此等候)
 ②ご家族の皆さんによろしくお伝えください。(請幫我向您的家人問好)
 ③入場券をお持ちでない方は、こちらでお求めください。(沒有入場券的人,請到這裡買)

※特殊敬語動詞變化

敬意度最高的表現，具有此形式的動詞，與後述的變化形式相比，較希望能使用此敬語動詞形式。

普通語	敬語
する	なさる、遊ばす
来る	いらっしゃる、おいでになる、お見えになる、おこしになる
行く	いらっしゃる、おいでになる
いる	いらっしゃる、おいでになる、見える
飲む、食べる	上がる、召し上がる
見る	ご覧になる
言う	おっしゃる
知る	ご存知（です）
知っている	存じる
くれる	下さる
聞く	お耳に入る
着る	召す、お召しになる
寝る	お休みになる
死ぬ	亡くなる、お亡くなりになる
買う	お求めになる

◎する → なさる、遊ばす

- ①ことしの夏休みはどうなさるおつもりですか。(今年暑假您打算做什麼?)

◎来る→いらっしゃる、おいでになる、お見えになる、おこしになる

- ①先生は明日も同じ時間においでになりますか。(老師明天也是同一時間來嗎?)
 ②まだいらっしゃらないのはどなたかしら。(還沒來的是誰?)

◎行く→いらっしゃる、おいでになる

- ①社長は来月にニューヨークおいでになる予定です。(社長預定下個月去紐約。)

◎いる→いらっしゃる、おいでになる、見える

- ①吉田さん、おいでになりましたら、放送室までおいでください。
 (吉田先生如果在的話，請到播音室來一下)

◎食べる、飲む→上がる、召し上がる

- ①もっとよく噛んでおあがりなさい。(請好好咀嚼過後在吃下)

◎見る→ご覧になる

①ちょっと飲んでごらんなさい。(您喝喝看)

◎言う→おっしゃる

①あの方のおっしゃることでしたら、間違いないでしょう。(如果是他說的大概不會錯吧)

◎知る→ご存知(です) 知っている→存じる

①あの方は何もご存じないと思います。(我想他什麼都不知道)

◎くれる→下さる

①十円の切手を二枚ください。(請給我2張10塊錢的郵票)

◎聞く→お耳に入る

①こんなことが社長のお耳に入ったら大変です。(這件事如果讓社長聽到的話會非常糟糕)

◎着る→召す、お召しになる

①社長夫人はいつも素敵な着物をお召しになっていきます。(社長夫人總是穿著漂亮的和服)

◎寝る→お休みになる

①休日社長はゆっくりお休みになりました。(社長假日充分地休息了)

◎買う→お求めになる

①入場券をお持ちでない方は、こちらでお求めになってください。
(沒有入場券的人,請到這裡買)

※名詞尊敬語的表現方式

◎「お」加和語

お所、お考え、お知らせ、お勤め、お心遣い、お尋ね、お忙しい、お力添え、お許し、
お答え

◎少數和語前面加「ご」

ごひいき、ごゆっくり

◎「ご」加漢語

ご住所、ご利用、ご協力、ご研究、ご家族、ご親類、ご配慮、ご到着、ご意見、ご着席、
ご質問、ご招待、ご許可

◎日常生活中常用單字，雖然是漢語，但前面加「お」

お料理、お弁当、お食事、お洋服、お世話、お勉強、お菓子、お時間

◎接頭語

- 1.おーお宅、おいかが、お静かに
- 2.みーみ代、み位
- 3.おみーおみ足、おみ帯、お神酒(おみき)
- 4.貴：貴校
- 5.ご：ご主人

-

◎接尾語

- 1.さん、さま—どなたさま、お父様、お母様、奥様、おばあさま、息子さん、お嬢さん、お婦さん、おじさん、おばさん、お孫さん、皆様、田中さん、ご苦労様、
- 2.方—あの方
- 3.殿—大臣殿
- 4.氏—田中氏
- 5.君—田中君、太郎君
- 6.貴—兄貴
- 7.閣下—大臣閣下
- 8.先生—校長先生、田中先生
- 9.代名詞：こちら、そちら、あちら、どちら

◎其他

- 1.この人—この方、こちらの方
- 2.うちのもの—お宅の方
- 3.会社のもの—会社の方
- 4.社長の田中—田中社長さん
- 5.医者—お医者さん、お医者様
- 6.教師—先生
- 7.警官—おまわりさん
- 8.名前—芳名
- 9.著作—高著
- 10.会社—貴社
- 11.大学—貴大学
- 12.あなた—お宅様、あなた様、どちらさま

※特殊尊敬稱呼

家族	→ ご家族	父	→ お父さん (さま)
母	→ お母さん (さま)	妻	→ 奥さん
主人	→ ご主人	祖父	→ おじいさん
祖母	→ おばあさん	息子	→ 息子さん、お坊ちゃん
娘	→ 娘さん、お嬢さん	孫	→ お孫さん
兄弟	→ ご兄弟	親類	→ ご親類
おじ	→ おじさん	おば	→ おばさん
みんな	→ 皆様	この人	→ この方、こちらの方
いところ	→ いとこさん	うちのもの	→ お宅の方
会社のもの	→ 会社の方	医者	→ お医者さん (さま)
教師	→ 先生	警官	→ おまわりさん
名前	→ ご芳名	兄	→ お兄さん
姉	→ お姉さん	妹	→ 妹さん
弟	→ 弟さん	家	→ お宅
会社	→ 貴社、御社	大学	→ 貴大学
だれ	→ どなた (さま)、どちらさま	著作	→ 高作
あなた	→ あなたさま、お宅さま、そちらさま		
社長の田中	→ 田中社長さん (さま)		

二、謙讓語

- * 謙讓表現可分為兩種：一是類似將說話者或是內部的人當話題時，藉由將這個人的地位降低來對聽話者表示敬意的丁寧語的用法；另一種則是當我方的人的行為等有涉及、或是影響到應該對其表示敬意的人之時，將自己這方的行為壓低來使對方變高。不過，當行為本身並沒有對對方造成影響時不使用這種謙讓表現。
- * 爲了要表示高度的敬意故有尊敬語及謙讓語的出現。與後述其他種用法相比，這裡列出的用法是比較常用的。表中出現「目上に」等字眼者表示使用在自方行為有涉及輩份、地位較高的人の場合。
- * 話者や自分方の人が話題のとき、その人を低めることによって聞き手に敬意を表す丁寧語に近いものである。「ex. いたす、まいる」
- * 話者や自分方の人々の行為などが、敬意を表すべき相手方（親しくない人、尊敬すべき人）にかかわりがあったり、影響を及ぼす際に、自分方を低めることにより相手方を高めるものである。「ex. いただく、伺う」

※謙讓表現の関する注意事項

1. 謙讓語の動詞を尊敬表現として使うのはいけない
 - ① 先生がそう申されました。(×)
 - ② 先生がそうおっしゃいました (○)
2. 丁寧でない言葉と一緒に使わない
 - ① 社長がおいしいとおっしゃいましたから、お食いました。(×)
 - ② 社長がおいしいとおっしゃいましたから、いただきました。(○)
3. 慣用語、ことわざはそのまま使う
 - ③ 私はお住みすれば都だと思えます。(×)

※特殊謙讓語

普通語	謙讓語
する	いたす
来る	まいる、伺う、上がる
行く	まいる、伺う、上がる
いる	おる
たずねる、訪問する	伺う、上がる
言う	申す、申し上げる
思う	存じる
知る、知っている	存じる、存じている、存じあげる、存じあげている
食べる、飲む	いただく
着る	身に付ける
聞く	伺う、拝聴する
会う	お目にかかる
見せる	お目にかける、ご覧に入れる
見る	拝見する
借りる	拝借する
あげる、与える	差し上げる

もらう	いただく、頂戴する
くれる	下さる
分かる、引き受ける	承知する、かしこる
持ってくる／いく	持ってまいる、(目上の所へ)持って上がる、持参する
ある	ござる
教える	存じる

◎する→いたす

① 手続きは私どもがいたします。(手續由我們來辦。)

◎来る→参る、何う、上がる

① 車が参ります。(車子會過來)

◎行く→参る、何う、上がる

① ただいま参ります。(我現在就過去)

◎いる→おる

① 乗務員がおりますので、お申し付け下さい。(有乗務員，請您吩咐)

◎言う→申す

① 私は田中と申します。(敝姓田中)

◎思う→存じる

① こちらのお部屋の方が静かだと存じます。(我想這邊的房間比較安靜)

◎知る、知っている→存じる、存じている、存じあげる、存じあげている

① 変更時刻は存じておりますので、ご安心下さい。(我知道變更的時刻，請您放心)

◎食べる、飲む→いただく

① 食事をいただきますよう。(吃飯吧！)

◎着る→身に付ける

① 制服はいつもきちんと身につけます。(隨時穿著整齊的制服)

◎もらう→いただく、頂戴する

① 花束をいただきました。(花束我收到了)

◎くれる→くださる

① お祝いをくださいました。(得到了祝賀)

※謙讓語動詞

1. 自分方の行為に対して、對自方的行為

① 明日出張でドイツへまいります。(明天至德國出差)

② わたくしは明日出張で大阪へまいります。(我明天要去大阪出差)

2. 自分方の行為が目上の人にかかわりがあるとき、自方行為涉及輩份・地位較高の人時

② 私は先生の本を拝見しました。(我拜讀了老師的書)

3. オ、ゴをつける

動詞の連用形や名詞にオ、ゴをつけると謙讓語になる

◎お(ご) ~する/いたす

- ①初めまして、どうぞよろしくお願いたします。(初次見面請多指教)
- ②これから私が皆様にご案内いたします。(接下來由我帶領各位參觀)
- ③農村の生活で實際を経験したことをお話してみたいと思います。
(來談談農村生活的實際體驗)

◎お(ご)~申し上げる

- *比お(ご) ~する/いたす的敬意要高。
- ①営業の田村でございます。よろしくお願い申し上げます。
(我是負責業務的田村。請多多指教)
 - ②この件については、改めて御相談申し上げるつもりでおります
(關於此事，我打算改天在與您討論)

◎お(ご)~いただく

- *相手から恩恵を受ける場合に使われる。從對方獲得恩惠時使用。
- ①ちょっとお待ちいただければ、すぐお直しいたします。(請稍待一會，我立刻將它修正)
 - ②わざわざお越しただいて恐縮です。(您特地前來令我深感惶恐)

◎お(ご)~願う

- *目上の人に頼むときに使う。拜託輩份、地位較高的人時使用。
- ①間違いはないと思いますが、念のためお調べ願います。
(我想應該是沒錯才對，不過爲了慎重起見，還是請您幫我查一下)
 - ②どうぞ御安心願います。(敬請安心)

◎お(ご)~にあずかる

- *好意や恩恵を受ける、お(ご) ~いただくより敬意が高い。
*接受輩份、地位較高的人的好意或恩惠時使用。比お(ご) ~いただく的敬意要高。
- ①本日はご招待にあずかり、ありがとうございます。(今天承蒙您招待，真是感激不盡)
 - ②お褒めにあずかりました。(承蒙誇獎)

◎お(ご)~を仰ぐ

- *目上の人や尊敬する人に) 教示や援助を求める。
*想從輩份、地位較高的人得到教導或指示、幫助等的時候使用。
- ①事件の処理についてご指示を仰ぎたいと存じます。
(一直在等您關於如何處理此一事件的指示)
 - ②専門家のご指導を仰ぎました。(得到專家的指教)

◎お(ご)~を賜る

- *從輩份、地位較高的人獲得了一些什么的時候使用。此用法敬意非常高。
- ①毎度ご愛顧を賜りましてありがとうございます。(一直承蒙您照顧，我由衷的感激)

◎お(ご)~を差し上げる

- *目上の人に対して何かをする場合。
*對輩份、地位較高的人作了些什么的時候使用。
- ①この人を捜しています。情報を寄せられた方にお礼を差し上げます。

(我們在找這個人。而我們將會對提供相關情報的人致贈謝禮。)
 ②先生の代わりにお片付け差し上げました。(代替老師解決事情)

◎～させていただく

*相手に自分がしようとする動作についての許しを願う謙讓表現。
 *動詞連用形+させていただく直譯成「讓我做某事」,意思是委婉地表達你要做某事,沒有詢問對方意見或允許的意思。

- ①ここでもう少し待たせていただきたいのですが…。(請讓我在這等一下)
- ②お先に帰らせていただきます。(我要先回去了)
- ③今晚はお邪魔させていただいてもよろしいでしょうか。(我今晚可以去拜訪您嗎?)
- ④不良品がございましたら、取り替えさせていただきます。
 (如果有不良品,我們會為您更換)

※名詞、形容詞の謙讓語

*必要がないが、美化語として使う (女性によって使われることが多い)

1.名詞:お花、お酒、お金、お安い、お電話、お話、ご相談、ご案内

*基本的には“お”は和語につけ、“ご”は漢語につけるが、いくつかの例外がある。例:

お宅、お茶

*一般的に音読みの言葉は“ゴ”をつけ、訓読みの言葉は“オ”を付けます。

*拙宅、拙著、弊社、粗茶、家内、薄謝、粗品

- ①先生にお電話をしてご報告いたすつもりです。(打算以電話向老師報告事情)

◎名詞の謙讓語

- | | |
|-----------|----------|
| 母→ お袋 | 妻→ 家内 |
| 私→ 小生、愚生 | 家→ 拙宅 |
| 大学→本学、本大学 | 会社→弊社、当社 |
| 著作→拙作、拙著 | 意見→私見 |

2.形容詞

*形容詞は語幹+くございます

*「お」開頭的形容詞不加「お」。例:多い、大きい、惜しい

語	語尾	語尾変化	“ございます”の形
美しい	-ii	-uu	うつくしゅうございます
若い	-ai	-oo	わこうございます
よい	-oi	-oo	ようございます
悪い	-ui	-uu	わるうございます

◎補充

- ① 窓を開けてください。
 →この部屋は暑いですね、窓を開けてください。
- ②明日はいけません。
 →明日は3時から別の約束があるんですが。
- ③ご家族は何人いらっしゃいますか。
 →個人的なことで恐縮なんですが、ご家族は何人いらっしゃいますか

- ④ちょっとこちらに来ていただけませんか。
→お話し中申し訳ありませんが、ちょっとこちらに来ていただけませんか。

三、丁寧語

- * 對於想要傳達己意讓他知道的人,亦即聽者,或收信者單純表示敬意時的用語。因此,使用丁寧語體時,和話題中人物的身份高低完全沒有關係,只需將其視為比普通語來的鄭重,恭敬即可。
- * 文字通り言葉や文章を丁寧に表現する言葉遣いです。丁寧語も、もちろん敬語のひとつです。ただ、「こちら側」「相手側」というような意識で使われるのではなく、あくまでも話し手（書き手）が客観的立場に立って柔らかく敬意を表するための言葉です。

◎使用接頭語

- ①すみませんが、おちやをいっぱいください。（對不起,請給我一杯茶好嗎？）
②さあ、ご飯にしましょう。（我們吃飯吧！）
[註]無論特種名詞及動名詞等,其上所加之接辭「御」的讀法,是依下面單語的讀法為標準,如「宅」的發音為訓讀,則上面的「御」讀「お」,如「健康,高名」的發音為音讀,則上面的「御」讀「おん」。其餘則依此類推。

◎使用動詞

- ①お帽子はここにございます。（帽子在這裡）
②これで閉会にいたします。（大會到這裡閉幕）

◎使用補助動詞

- ①会場はこちらでございます。（會場在這裡）
②お食事でございますよ。（要用餐了喔！）
③今回の申し込みは満員であります。（這次的申請額滿了）

◎使用助動詞

- ①僕は九州へ旅行します。（我要到九州去旅行）
②京都はおくゆかしい古都です。（京都是很典雅的古都）
③私はパーサーです。（我是座艙長）

丁寧でない言葉	普通の言葉	丁寧な言葉
	いく、くる	まいる
	いる	おる
	いう	もうす
	死ぬ	亡くなる、逝く
	寝る	休む
	買う	求める
	ある	ございます
	～です	～（で）ございます
やる	する	いたす
食う	食べる	いただく
やる	あげる	

普通の言葉	改まった言葉	普通の言葉	改まった言葉
こっち	こちら	今度	このたび、今回
そっち	そちら	いま	ただいま
あっち	あちら	あとで	後ほど
どっち	どちら	さっき	さきほど
どこ	どちら	これから	今後
今日	本日	すごく、とても	たいへん
あした	明日	ちょっと、少し	少々
あさって	明後日	すぐ	早速、早急に
きのう	昨日	とても～ない	とうてい～ない
おととい	一昨日	どう	いかが、けっこう
ゆうべ	昨夜	冷たい水、水	お冷や
けさ	今朝	くらい	ほど
握り飯	おにぎり、おむすび	はら	おなか
うまい	上手、おいしい	まずい	よくない
はら	おなか	めし	ごはん
僕、おれ、わたし	わたくし	あなた、君、お前	あなたさま、お宅様
女房	家内	この人達	この方々、こちらの方々
この人	この方、こちらの方	先生達	先生方
わたしたち	わたくしども		

◎お、ごをつけないもの

- | | |
|--|-------------------|
| (1) 自然に関するもの | ex 雲、空、山 |
| (2) 公共施設 | ex 公園、電車 |
| (3) 外来語、外国語 | ex トイレ、コーヒー、こうもり傘 |
| (4) 動物、植物 | |
| (5) 病名 | ex 頭痛、腹痛 例外:お風邪 |
| (6) お、あで始まる単語や乱暴な言葉 | ex お多い(×) 例外:お暑い |
| (7) お机、おビール、おコーヒ、おジュース、お多い、お大きい、お惜しい、ご教科書
ごパソコン | |

四、美化語

*意識して自分の言葉遣いを上品にしようとする言葉の味つけをいいます。

※一般常用的美化語

◎接頭語：お、ご、貴、御

お花、お酒、お金、お野菜、お勉強、お寒い、お茶、お菓子、お食事、お元気、おすし、
お店、お手洗い、お昼、おしまい、お米、おはし、お湯、お茶づけ、おぜん、おかず、
おでん、おしろ、おわん

ご飯、ご注文、ごほうび ごちそう

例外：お時間、お電話、お仕事、お名前、お宅、お部屋、お食事、お留守、お手紙

◎お+形容詞〈形容動詞、名詞〉

例：お忙しい、お元気、お暇、お寂しい、お早い

◎ご+形容動詞

例：ご多忙、ご心配、ご不満、ご満足